

授業科目	*専門研究Ⅰ(稲木)				実務家教員担当科目	-					
単位	2.	履修	必修	開講年次	3	開講時期	通年				
担当教員	稲木 光晴										
授業概要	各々の学生の関心のあるテーマに基づいて指導教員を選択し、専門領域の研究を行う。指導は10名程度の小グループで行う。なお、「専門研究Ⅰ」は4年次に履修する「専門研究Ⅱ」とともに、原則として同一教員により指導を行う。										
授業形態	演習他			授業方法							
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	教員の指導の下、個人あるいはグループで設定したテーマに基づいて研究を深めることができる。個人あるいはグループで設定したテーマに基づいて、調べたりまとめたりすることができる。										
理想的レベル	個人あるいはグループで設定したテーマに基づいて、調べたりまとめたりすることができる。さらにそのプロセスにおいて、独自の視点で考察し、他者に説明することができる。										
評価方法・評価割合											
評価方法	評価割合(数値)				備考						
試験											
小テスト											
レポート											
発表(口頭、プレゼンテーション)											
レポート外の提出物											
その他	100%				ゼミ活動に対する意欲・態度等。詳細は各教員の研究指導領域の資料内容を参照。						
カリキュラムマップ(該当DP)・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	○	ナンバリング	WE31701J
学習課題(予習・復習)										1回の学習目安(時間)	
各自のテーマに関して、文献検索等を行い、内容をまとめる。										1	
授業計画											
第1回	<p>1. 指導教員の選択</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2年次の12月にオリエンテーションを実施し、指導教員の選択に関する手続きの説明、各教員の指導領域の資料配付を行う。 <p>※学生の選択の結果によっては、指導人数の調整を行うことがある。</p> <p>2. 指導方法・内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「演習(ゼミナール)」の方法をとる場合が多いが、各担当教員の指示による。 ・3年次・4年次と継続した指導を行う。基本的に4年次ではより専門的な研究を深める。 										

テキスト	担当教員ごとに紹介する。
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	担当教員ごとに紹介する。
課題に対するフィードバックの方法	担当教員毎に提示する。
学生へのメッセージ・コメント	各教員の研究指導領域の資料内容について確認し、関心のあるテーマについて考える。 専門研究は、学生が自らの学問的関心に基づいて各自の研究領域やテーマを深めるものである。主体的・積極的姿勢で望む。